

経営比較分析表（平成28年度決算）

北海道 豊浦町

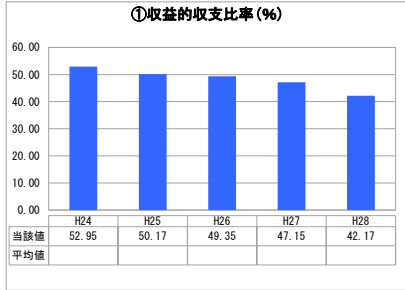
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	65.74	88.92	3,080

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,180	233.57	17.90
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,748	1.91	1,438.74

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



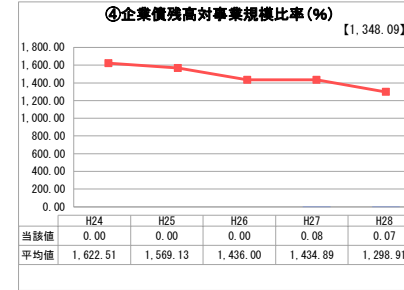
「単年度の収支」



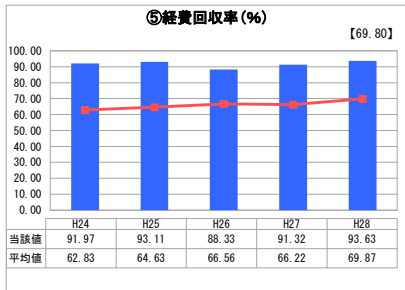
「累積欠損」



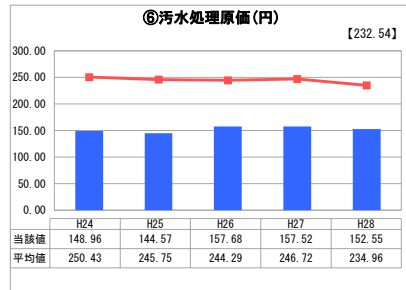
「支払能力」



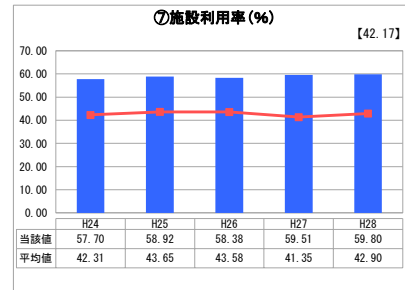
「債務残高」



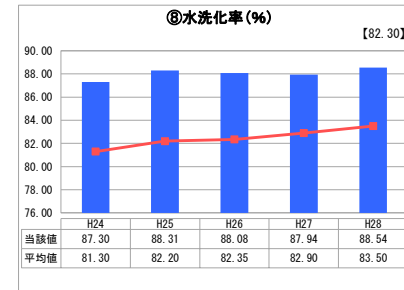
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

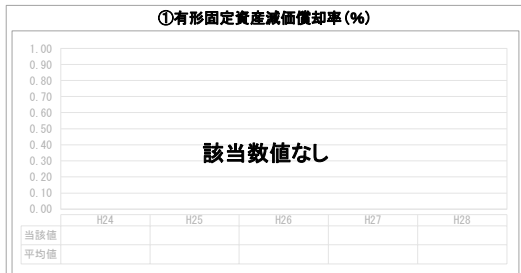


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

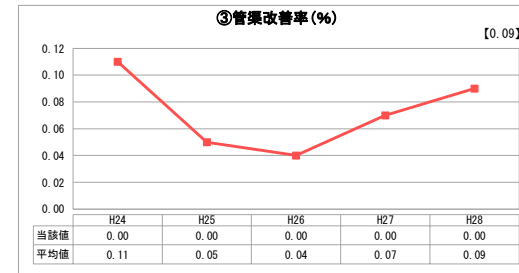
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

前年度同様に収益的収支比率が年々減少傾向にあり、依然として繰入金に依存していることから、平成29年4月から料金改定を実施し、収入の改善を見込んでいる。経費回収率、汚水処理原価、施設利用率は前年度よりも若干の改善傾向がみられることから、今後も更なる経費回収及び経費節減の徹底に努め、経営の効率化を図る。

2. 老朽化の状況について

処理施設の更新事業はほぼ終了し、今後は必要に応じて管路施設の更新を適期に実施していく。

全体総括

料金改定により安定的な経営を図っていく。今後も水洗化率の向上、維持管理費の経費節減を徹底し、効率的な経営を目指す。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。